

広報

伊万里



平成26年度 予算特集号



伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル（3月21日：国見台陸上競技場）

平成 26 年度

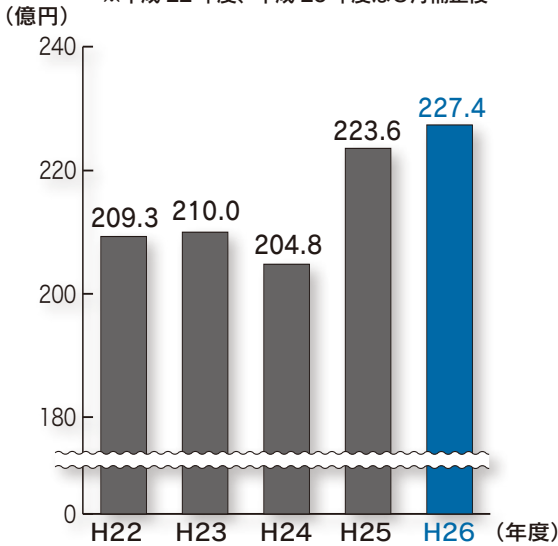
6月補正後予算総額

227億4,229万円

一般会計

一般会計予算額の年度別推移

※平成 22 年度、平成 26 年度は6月補正後

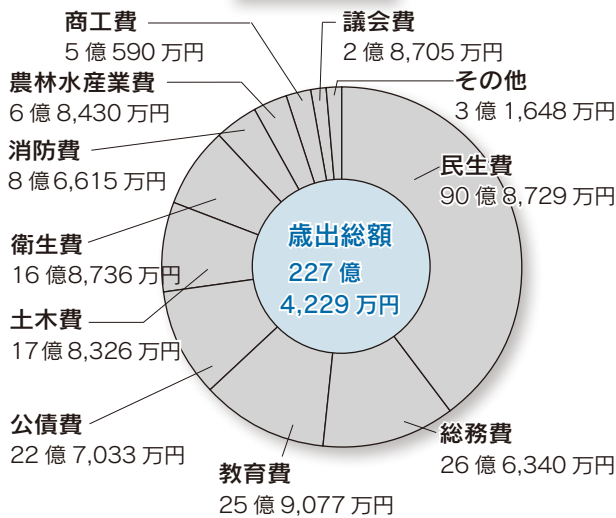


その結果、今年度の6月補正後の伊万里市一般会計予算は、総額で227億4,229万円となっています。平成25年度の同期(6月補正後)と比較すると、1・4割の減少となりました。その概要は、次のとおりです。

平成26年度は、4年に1度の市長改選の年にとり、当初予算は義務的経費や経常的経費などを中心とした骨格予算でした。このため、今回の補正予算で、投資的経費や政策的経費などを追加し、予算の肉付けを行いました。

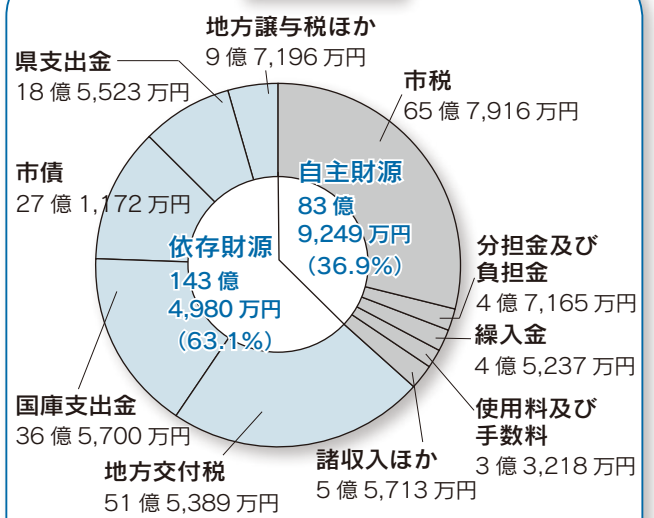
厳しい財政状況の中、県の『核燃料税交付金』を活用した防災事業をはじめとして、事業の重要度や緊急度などを考慮し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努めながら、厳選した事業を中心に予算編成を行いました。

歳出



- **民生費**………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費**………企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- **教育費**………小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **公債費**………借入金の返済に要する経費です。
- **土木費**………道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **衛生費**………保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **消防費**………火災など災害に対応するための経費です。
- **農林水産業費**………農林水産業の振興に要する経費です。
- **商工費**………商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費**………議会運営に要する経費です。
- **その他**………労働費や諸支出金、災害復旧費などです。

歳入



- **市 税**………個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **分担金及び負担金**………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **繰入金**………基金や特別会計からの繰入金です。
- **使用料及び手数料**………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです。
- **諸収入ほか**………雑入などです。
- **地方交付税**………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金**………国からの負担金や補助金です。
- **市 債**………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **県支出金**………県からの負担金や補助金です。
- **地方譲与税**………国税から譲与されるものです。

表 1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	78 億 315 万円
介護保険	57 億 119 万円
立花台地開発事業	1,737 万円
公共下水道事業	20 億 8,034 万円
農業集落排水事業	1 億 5,672 万円
市営駐車場	1,203 万円
後期高齢者医療	13 億 4,616 万円
計	171 億 1,696 万円

表 2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	12 億 4,320 万円
	支出	12 億 4,320 万円
資本的収支	収入	6 億 130 万円
	支出	6 億 7,134 万円

表 3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	206 億 8,532 万円	
特別会計	公共下水道事業	127 億 6,380 万円
	農業集落排水事業	11 億 469 万円
計	345 億 5,381 万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	46 億 5,384 万円
	工業用水道事業	148 億 875 万円
計	194 億 6,259 万円	

※平成 26 年 5 月 31 日現在の金額です。
 ※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

特別会計

特定の事業を行う際に、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして特別会計を設けています。

■国民健康保険特別会計
 国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。



■介護保険特別会計
 介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

■立花台地開発事業特別会計
 公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です。

■公共下水道事業特別会計
 快適な生活環境の実現をめざし、下水道の整備や処理場の維持管理を行うための会計です。

■農業集落排水事業特別会計
 農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です。

■市営駐車場特別会計
 中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です。

企業会計

■後期高齢者医療特別会計
 後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の2つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、**表2**のとおりです。

市債現在高

■水道事業特別会計
 安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■工業用水道事業特別会計
 工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、**表3**のとおりです。

平成 26 年第 2 回定例会 所 信 表 明

平成 26 年第 2 回定例会市議会（6 月議会）で、塚部市長が平成 26 年度の市政運営について所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介します。

4 期目に当たっての決意

私は、先の市長選挙において、市民の皆さんのご支持を賜り、無投票当選により 4 期目の市政運営について負託をいただきました。このことは、この上なく光栄に思いますとともに、平成 14 年 4 月の市長就任以来、3 期 12 年間にわたって、市民の皆さんと同じ目線に立ち、情熱をもって市政運営に努めてきた評価と、将来に向けた信頼と期待の表れと受け止め、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

伊万里市は、昭和 29 年の市制施行から今年で 60 周年を迎えます。西九州北部の中核都市としての機能と、風格を備え着実な発展を遂げてきた今日の伊万里市が、次なるステージへと大きく飛躍するよう、私は、市政運営の原点に立ち返り、『さわやか市政』を推進します。また、『暮らしの安心・安全の確保』、『地域産業の振興』、『賑わいと活力の創出』の 3 つのまちづくりを積極的に展開し、市民福祉のさらなる向上と将来に向けた発展に全力を尽くす決意です。

特に、海外との貿易や産業集積を図るための伊万里湾開発と、西九州自動車道の市内区間の開通を契機とする観光戦略の展開については、本市の成長戦略と位置づけ、私の政治目標である『住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里』の実現に最大限の努力を傾注します。

伊万里市長 塚部 芳 和

市政を取り巻く情勢

我が国の経済情勢は、一昨年 12 月の政権交代以降に取り組まれた、いわゆるアベノミクスによる大胆な金融政策や機動的な財政・経済対策などの効果により回復基調にあり、第 3 の矢とされる民間投資を喚起する成長戦略の展開による今後の成果に大きな期待が寄せられる一方で、TPP 協定交渉が進められる中、コメや牛肉など本市の主要な農産物生産への大きな影響が懸念されるなど、先行きは予断を許さない状況にあります。

また、10 年後には団塊の世代が後期高齢者となり、社会保障費や医療費の急激な増加が見込まれるほか、100 年後には県内人口は現在のわずか 3 分の 1 にまで縮小すると推計されるなど、人口減少と少子高齢化は世界にも例をみない速度で進行しています。

さらに、安全に対する意識転換を余儀なくされた東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の発生から 3 年以上が経過するにもかかわらず、被災地では復興が進まない厳しい実情にあり、本市の全域が玄海原子力発電所から 30 キロ圏の緊急時防護措置準備区域（UPZ）に含まれたことから、市民の皆さんの安全を守るための防災対策事業の実施が喫緊の課題となっています。

自立した自治体経営の確立と
市民が主役の活気に満ちた
地域社会を実現します



強く、元気な伊万里市へ

まちづくりの基本方針

このように、新たな対応を迫られる厳しい状況の中で、地方自治体に求められる役割は、さらに増大し多様化することが予測されま
す。今後4年間の市政運営は、未
来の伊万里市にとって、まさに飛
躍のための正念場であるとの思い
を強くしているところです。

このため、私は、限られた財源
の中で、将来を見据えた堅実な行
政運営を市政運営の基本としな
がら、行政改革へのためまぬ取り
組みにより自立性の高い自治体経
営の確立に努めるとともに、市民
が主役となって活気に満ちた地域
社会を形成していくため、大胆な
発想の転換とともに、攻めの姿勢
とスピード感をもって、『強く、元
気な伊万里市づくり』に邁進して
いく決意です。

主要な施策

マニフェストに掲げた『強く、
元気な伊万里市をつくるための5
つの施策』については、第5次伊
万里市総合計画の後期基本計画に
位置づけ、着実に推進していく考
えです。

※次ページからは、総合計画の5つ
のまちづくりの目標に沿って取り
組む市政の主な施策と予算につい
て説明します。

安心して健やかな暮らしづくり

まちづくりの目標

安心して子どもを産み育てることができ、環境を整備するため、来年4月に予定されている子ども・子育て支援に関する新制度へのスムーズな移行を図るとともに、子どもが健やかで伸び伸びと育つよう、子どもに関する総合的な条例の制定について検討を進めます。また、事業所などを対象とした結婚活動の支援に関する学習会や、市内高校において結婚や子育てなどへの関心を高めるための講演会を開催するなど、出会いから結婚、出産、子育てに至るまで、切れ目のない支援に努めます。

若年層から高齢者まで生涯を通じた健康づくりを促進するため、関係団体などとの連携によるプロジェクトチームを設置するとともに、市民の皆さんが運動に親しむ機会の提供や各種講座の開催など、健康長寿日本一に向けた取り組みを進めます。

国や県のがん対策に関する計画において、がんになっても安心して暮らせる社会の構築を目標として掲げられていることから、抗がん剤の副作用による脱毛に悩む人が治療を受けながら社会復帰ができるよう、新たに医療用等かつらの購入費の助成に取り組みます。



市長旗争奪ゲートボール大会

●緊急通報システム運用事業

203万円
突発的で緊急を要する事態に対応するため、在宅の一人暮らし高齢者などに対して緊急通報機器を貸与します。

財源 市203万円 ▼長寿社会課

●老人団体支援事業

264万円
市老人クラブ連合会と各町単位老人クラブに対して支援を行います。

財源 県56万円 市208万円

▼長寿社会課

●婚活啓発事業(新)

159万円
地域少子化対策強化交付金を活用し、事業所などを対象に結婚に関する意識改革や婚活応援体制の強化を図ります。

財源 県159万円 ▼婚活応援課

●妊娠・出産講演会開催事業(新)

85万円
地域少子化対策強化交付金を活用し、結婚から妊娠、出産、子育てまで、切れ目のない保健対策を強化するため、講演会を開催します。

財源 県85万円 ▼健康づくり課

●庁舎管理事業(市民ロビー授乳室設置工事(新))

90万円
来庁者の利便性の向上のため、市民ロビーに授乳室を設置します。

財源 繰入金90万円 ▼財政課

●がん患者かつら購入支援事業(新)

83万円
国・県の第2次がん対策推進基本計画を推進するため、がんの治療による脱毛に悩むがん患者に対し、かつらの購入費を補助します。

財源 市83万円 ▼健康づくり課

●身体障害者更生医療給付事業

9226万円
身体に障害のある人の障害部位の加療により、改善または機能維持が図られる場合(人工透析、心臓手術など)に医療費の給付を行います。

財源 国4603万円 県2302万円 市2321万円 ▼福祉課

●身体障害児育成医療給付事業

354万円
身体に障害のある18歳未満の児童に対し、原則として手術(内科的治療は除く)により将来の生活能力を得るために必要な医療給付を行います。

財源 国177万円 県88万円 市89万円 ▼福祉課

●障害者介護・訓練等給付事業

9億5774万円
障害者総合支援法に基づき、障害者やその保護者に対し障害福祉サービス利用の支援などを行い、障害者の自立や社会参加を促します。

財源 国4億7825万円 県2億3912万円 市2億4037万円 ▼福祉課

●医療費助成事業

1億4666万円
心身に重度の障害のある人やひとり親家庭などに対し、医療費の一部を助成します。

財源 県7333万円 市7333万円 ▼福祉課

▼福祉課

●健康長寿推進事業新

健康長寿日本一をめざし、関係課や関係団体で組織するプロジェクトチームを設置し、事業計画などの検討を行うとともに、本年度は生活習慣病予防のための特定健診の受診率向上や健康増進を目的とした市民健康講座を開催します。

財源 市57万円 ▼健康づくり課

57万円

●生活保護費支給事業

生活困窮者に対して、必要な保護を行うことにより最低限度の生活を保障し、自立を助長します。

財源 国8億7510万円 県2724万円 市2億6447万円 ▼福祉課

11億6681万円

●臨時福祉給付金支給事業新

4月の消費税率引き上げに伴い、所得の低い世帯への影響を緩和するため、臨時的に給付金を支給します。

財源 国1億7264万円 ▼福祉課

1億7264万円

●子育て世帯臨時特例給付金支給事業新

4月の消費税率引き上げに伴い、子育て世帯への影響を緩和するとともに、消費の下支えを図るため、臨時的に給付金を支給します。

財源 国8036万円 ▼福祉課

8036万円

●子どもの医療費助成事業

小・中学生が入院した際、または小学校就学前の子どもの入院・通院した際の医療費（保険診療分）自己負担の一部を助成します。

財源 県4827万円 諸収入117万円 市5035万円 ▼福祉課

9979万円

●子育て支援センター管理運営事業

子育て相談業務や多様化する保育需要に応じた一時預かり、休日保育など子育て世代への支援を行います。

財源 使用料69万円 国113万円 県177万円 市53万円 ▼福祉課

412万円

●留守家庭児童クラブ管理運営事業

就労などで昼間保護者のいない家庭の小学校低学年の児童に対して安全な生活の場や遊びの場を提供し、健全な育成を図ります。

財源 使用料2145万円 県2628万円 諸収入60万円 市1471万円 ▼教育総務課

6304万円

●健康増進事業

市民の健康保持を目的に、各種健（検）診や健康相談などを実施します。

財源 国90万円 県103万円 繰入金48万円 諸収入614万円 市2807万円 ▼健康づくり課

3662万円

●予防接種事業

感染症の発生を未然に防止するため、小児や女子生徒への各種予防接種と高齢者のインフルエンザ予防接種を実施します。また、妊婦の風しんへの感染を予防し、安心して出産できるように、成人を対象とした風しんの予防接種を実施します。

財源 県192万円 市1億5997万円 ▼健康づくり課

1億6189万円

●産婦相談交流事業新

地域少子化対策強化交付金を活用し、産後うつ等の予防や出産直後の育児不安に関する相談や情報交換を行います。

財源 県54万円 ▼健康づくり課

54万円

●妊婦乳児健康診査事業

乳児が心身ともに健やかに育つよう、また、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図ることで安心して妊娠や出産ができる体制を確保するため、乳児および妊婦の健康診査を実施します。

財源 市5407万円 ▼健康づくり課

5407万円

●休日・夜間急患医療センター管理運営事業

休日・夜間急患医療センターにおいて、日曜日や祝日の休日診療や平日の夜間における小児診療など初期救急医療体制の確保を図ります。

1568万円

財源 市1568万円 ▼健康づくり課

健康づくり課

●伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金

伊万里・有田地区医療福祉組合が行う伊万里有田共立病院事業に対し、その運営経費を負担します。

財源 市2億1201万円 ▼健康づくり課

●病院群輪番制病院運営事業

初期救急医療（休日・夜間急患医療センター、在宅当番医制）を支援するため、休日に入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、輪番制により開院する伊万里・有田地区内の10病院に対し、運営に要する経費の補助を行います。

財源 諸収入171万円 市303万円 ▼健康づくり課

474万円

健康づくり課



市内の保育園児たちが元気に歌って踊る『心ふれあい・うたフェスタ』

創造的で心豊かなひとづくり

子どもの創造性や主体性を育むため、学校や地域の実態に応じた特色ある学校づくりをはじめ、中学校において、放課後に地域の人材を活用した学力向上対策に取り組むほか、ICT（情報通信技術）機器を利用した児童生徒の学習意欲と理解を高めるため、小・中学校において電子黒板の整備を進めます。また、小・中学校の規模適正化については、少子化に伴う児童生徒数の動向などを見据えて、引き続き検討を進めます。

市民運動として取り組まれてきた博物館の整備については、職員によるプロジェクトチームにおいて、施設の必要性やあり方についての調査研究を進めます。また、来年生誕150周年を迎える本市出身の偉人である森永太郎翁に関連する資料の展示を行うほか、市民の皆さんの健康と体力向上はもとより、県内外からの交流人口の拡大を図るため、日本陸上競技連盟からの公認を受けハーフマラソン大会を開催します。



保護者会が中心となってリニューアルした黒川小学校の図書館で楽しそうに本を読む児童

●伊万里塾開催事業

56万円

地域の歴史、文化、風土、自然などの特性を生かした地域づくりを推進するため、各町公民館を拠点に独自の講座などを開催します。

財源 市56万円 ▼生涯学習課

●家読推進事業

24万円

市制60周年を記念し、家読推進講演会、家読川柳コンテストを開催します。また、ブックスタート事業10周年を記念して講演会を開催し、親子や家族で読書について語り合う時間を作り出す家読活動を市内全域に広げます。

財源 繰入金24万円 ▼市民図書館

●ブックスタート事業

67万円

生後3か月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対し、3か月児健診時に絵本を配布し、ボランティア団体と協働で読み語りをを行います。

財源 繰入金67万円 ▼市民図書館

●小学校建設事業

8億5577万円

二里小学校校舎の改築を行います。

財源 国2億220万円 繰入金8000万円 市債5億6410万円 市947万円 ▼教育総務課

●小・中学校耐震改修事業新

2708万円

耐震診断で補強が必要と判断された伊万里小学校および伊万里中学校の屋内運動場の耐震補強工事を行い、安全・安心な教育環境を整備します。

財源 国1354万円 市債1350万円 市4万円 ▼教育総務課

●『進』魅力ある学校づくり事業

87万円

児童生徒の学力向上や豊かな心の育成を図るため、学校と地域の関係者が一体となって魅力ある学校づくり

を推進します。
財源 県43万円 市44万円



市内小学校のほか県外からの参加もあり、友情の輪が広がる波多津小学校の『一輪ピック』

▼学校教育課

●小・中学校パソコン管理事業（先進的ICT活用教育推進事業臨時交付金新）

4822万円

教職員の校務用パソコンを更新するとともに、県の先進的ICT活用教育推進事業臨時交付金を活用し、各教室に電子黒板を導入します。

財源 繰入金4380万円 市442万円 ▼学校教育課

●中学校放課後等補充学習事業新

93万円

生徒の学力向上の促進と学習習慣の定着を図るため、地域の人材を活用し、放課後などに補充学習を行います。

財源 県56万円 市37万円 ▼学校教育課

● **スクールサポーター配置事業新**

190万円

少年非行などに関する知識を持つ指導員を学校に配置し、いじめや暴力行為、非行防止対策などに対する支援体制を強化します。

財源 市190万円 ▼ **学校教育課**

● **伊万里ミュージアム調査研究事業新**

35万円

市職員によるプロジェクトチームを設置し、本市における博物館の必要性やあり方、事業方法などについて調査研究を行います。

財源 市35万円 ▼ **企画政策課**

● **特別支援児童生徒サポート事業**

1247万円

小・中学校において学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、肢体不自由などの特別な支援を必要とする児童生徒の自立を促すため、臨時雇職員を配置し、学習・生活支援を行います。

財源 市1247万円 ▼ **学校教育課**

● **学校適応指導教室運営事業**

376万円

生涯学習センターと旧ポリテクセンター内に設置する学校適応指導教室『せいら』と『せいら西』において、学習や体験活動を通じて不登校児童生徒の学校復帰を支援します。

財源 市376万円 ▼ **学校教育課**

● **スクールカウンセラー配置事業**

297万円

教育相談の専門的な知識や経験を持つスクールカウンセラーを小学校に配置し、不登校、いじめなど子どもや保護者が抱える悩みについて、カウンセリングを行います。

財源 県99万円 市198万円 ▼ **学校教育課**

● **森永太郎展開催事業新**

177万円

市制60周年を記念し、森永太郎翁の遺品などを展示し、人物像や本市との関わりを明らかにすることで、未来を担う子どもをはじめ市民の郷土への誇りと愛着を養います。

財源 市177万円 ▼ **生涯学習課**

● **史跡大川内鍋島竊跡学術調査事業新**

227万円

国史跡の一部区域について遺構の範囲や性格、さらに歴史の変遷を確認するための発掘調査を行います。

財源 国114万円 県38万円 市75万円 ▼ **生涯学習課**

● **ハーフマラソン大会開催事業新**

126万円

市制60周年を記念し、日本陸上競技連盟公認のハーフマラソン大会を開催します。

財源 市126万円 ▼ **体育保健課**

● **市民体育祭開催事業新**

50万円

市制60周年を記念し、スポーツが盛んで心身ともに健やかなひとづくりと地域づくりをめざし、市民総参加による体育祭を開催します。

財源 市50万円 ▼ **体育保健課**

● **プロ野球ウエスタンリーグ伊万里大会開催支援事業新**

50万円

市制60周年と国見台野球場改築20周年を記念し、市民の『見るスポーツ』の場づくりと青少年の競技力向上を図るため、プロ野球ウエスタンリーグ伊万里大会を開催します。

財源 市50万円 ▼ **体育保健課**

● **市民センター改修事業新**

8176万円

文化ホールの舞台照明設備をアナログ方式からデジタル方式へ変更するなど設備の更新を行います。

財源 繰入金8000万円 市176万円 ▼ **市民センター**

● **公民館改修事業新**

1013万円

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、誰もが利用しやすい公民館づくりを進めるため、大川内公民館をバリアフリー化します。

財源 諸収入1000万円 市13万円 ▼ **生涯学習課**

● **学校給食センターPFI事業**

1億6446万円

PFI手法により整備を行った学校給食センターの建設経費などを、平成18年度から平成33年度までの16年間にわたり支払います。

財源 市1億6446万円 ▼ **体育保健課**

● **大連市友好交流伊万里市訪問団派遣事業**

81万円

中国大連市とは1987年の相互訪問以来、深い信頼関係を築いており、市民レベルでの交流を通じて本市の活性化をめざすため、市民訪問団を派遣します。

財源 市81万円 ▼ **国際交流室**



8月30日に開催予定の『プロ野球ウエスタンリーグ伊万里大会』

活気あふれる産業づくり

西九州自動車道が平成26年度に谷口インターチェンジ（仮称）まで開通することを見据え、農業や観光をはじめ本市産業の発展における絶好の機会ととらえ、伊万里ブランドとして高い評価を受けている伊万里焼や伊万里牛、伊万里梨などの消費拡大に向けた情報発信に努めます。

特に、福岡都市圏において商業施設やホテル等と共催で開催する伊万里フェアについては、実施会場の追加や、伊万里産の新鮮な野菜、果物の展示販売、マスコミ関係者を対象とする観光資源のPRなど、規模を拡大して事業を展開するなど、観光宣伝活動の強化により、交流人口の増加や特産品の販路拡大を図ります。

また、本市を観光ルートに組み入れた新たな旅行商品を開発する旅行代理店への助成制度を創設するとともに、観光客に対し焼き物の里を強く印象づけ大川内山への誘導を図るため、観光広告塔を設置します。

さらに、伊万里まちなか一番館の運営を支援するほか、商店街の活性化のためのイベントを開催するなど、まちなかにおける賑わいの創出を図ります。

農業については、今年度からスタートした日本型直接支払制度に取り組み、洪水防止など農地の多面的機能の維持を図るため、地域が取り組む農地や農業用水等の保全活動を支援するとともに、中山間地域における生産活動の維持向上と化学肥料の低減や環境保全に配慮した活動を支援します。

また、農産物等の付加価値を高める6次産業化の取り組みの活性化に向け、認定農業者などを対象とするセミナーを開催するほか、農業用機械や施設の整備を支援するなど、農業経営基盤の強化による収益性の確保に取り組みます。



『伊万里フェア』（福岡市内のホテル）で提供されている伊万里産の食材を使った料理

●観光PR事業（福岡都市圏でのポスター掲示等） 356万円

西九州自動車道の開通を見据え、さまざまなメディアを活用した情報発信を行い、福岡都市圏などからの誘客を図るとともに、市内一円に市マスコットキャラクターの看板を設置し、市民の認知度を高め、観光客の受け入れ体制を整えます。

財源 繰入金50万円 市306万円

▼観光課

●観光景観関連施設整備事業（新） 150万円

西九州自動車道の開通を見据え、新たに観光案内板を整備するとともに、既存の歓迎広告塔の塗装直しを行います。

財源 市150万円

▼観光課

●伊万里ブランドフェア開催事業 148万円

福岡都市圏において、伊万里ブランドの認知度を向上させるため、福岡市内のホテルで宿泊者や来館者を対象に『伊万里の魅力』を実感できる伊万里フェアを開催し、さらなる販売促進と観光客の誘致を図ります。

財源 市148万円

▼観光課

●伊万里ブランド販売促進事業 482万円

博多阪急開業4周年記念イベントに合わせて伊万里牛フェアを開催し、伊万里の特産品の認知度を向上させるとともに、販売促進を図ります。

財源 諸収入372万円 市110万円

▼観光課

●観光振興団体支援事業 694万円

市の観光情報の発信や案内などを行う伊万里市観光協会などに支援を行います。

財源 市694万円

▼観光課

●観光振興団体支援事業（テレビCM放映新、募集型企画旅行誘致新） 412万円

西九州自動車道の開通を見据え、宣伝活動の強化や、本市を観光ルートに組み入れた旅行商品を開発する旅行代理店への助成を行います。また、福岡都市圏などからの誘客を図るため、各種団体への補助を行います。

財源 市412万円

▼観光課

●まちなか活性化団体支援事業 904万円

伊万里まちなか一番館を拠点に、民間のまちづくり団体が中心となつて取り組む中心市街地活性化に向けた各種事業に対して補助金を交付します。

財源 県50万円 市854万円

▼企業誘致・商工振興課

●トラック朝市開催支援事業 48万円

都市住民（消費者）と農山漁村（生産者）の交流を通して、商店街に賑わいを作り出すことを目的として開催する『トラック朝市』に対して支援を行います。

財源 市48万円

▼観光課



多くの客が訪れたまちなかで開催された『にぎわいマルシェ（市場）』

●農地・水保全管理支援事業

2902万円

日本型直接支払い制度の創設により、これまでの農地・水保全管理支払交付金制度から『多面的機能支払交付金』制度に移行し、農地、農業用水などの資源と農村環境が将来にわたり良好な状態で保全管理し、その質的な向上を図る活動に対して支援を行います。

財源 市2902万円

▼農山漁村整備課

●中山間地域農業基盤・環境整備促進事業（県営事業負担金） 1800万円

中山間地域における農業基盤などの総合整備を行います。

財源 分担金200万円 市債310万円 市1290万円

▼農山漁村整備課

●中山間地域農業集落活動支援事業 1億8731万円

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄地の発生防止や水源かん養、洪水防止などの多面的機能の維持増進を図るため、協定集落の活動に対して支援を行います。

財源 県1億4048万円 市4683万円

▼農業振興課

●環境保全型農業取組支援事業 268万円

化学肥料や化学合成農薬の低減や有機農薬などの取組を行いながら、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う取組に対して支援を行います。

財源 県135万円 市133万円

▼農業振興課

●6次産業化セミナー開催事業（新） 25万円

農家の経営を多角化し収益率を上

げるため、農業6次産業化アドバイザーを委嘱し、認定農業者や農業法人などの担い手農家などを対象に、6次産業化セミナーを開催します。

財源 市25万円

▼農業振興課

●水田農業機械・施設等整備支援事業 914万円

水田農業の担い手の経営安定と競争力のある売れる米・麦・大豆づくりを推進するため、水田農業の担い手自らが経営発展に向けて策定した『効率的生産確立計画』の実現に必要な機械、施設などの整備に対して支援を行います。

財源 県703万円 市211万円

▼農業振興課

●高性能林業機械導入支援事業（新） 1766万円

林業整備の作業労働の軽減や効率化、利用間伐などを促し、伊万里地区内の素材生産量の増加を図るため、高性能林業機械の導入に要する経費を補助します。

財源 国1766万円

▼農山漁村整備課

●林道整備促進事業 318万円

県代行事業として整備を進めている林道の境界杭設置などを行うとともに、林道の整備に必要な用地を購入します。

財源 繰入金170万円 市148万円

▼農山漁村整備課

●波多津漁港改修事業（新） 811万円

波多津漁港施設において、埋め立て地の地盤沈下や排水不良が生じ、満潮時に豪雨が重なった場合に、海へ雨水を排水できない状況となっているため、施設の改修工事を行います。

財源 県310万円 繰入金370万円 市131万円

▼農山漁村整備課

●伊万里港ポートセールス推進事業 500万円

佐賀県伊万里港振興会が、伊万里港七ツ島国際コンテナターミナルの取扱貨物の増大に向けて行う助成事業に要する費用を負担します。

財源 市500万円



伊万里港を利用する産業の国際競争力の向上を図るため国と県により整備されたガントリークレーン

安全で快適な地域づくり

玄海原子力発電所に関連する防災対策として、緊急時防護措置準備区域（UPZ）を対象とする避難道路の整備や財政支援などについて、国や県への働きかけを強化します。

また、災害の発生時に市民の皆さんに迅速かつ確実に災害情報を伝達する防災行政無線の整備に着手するほか、防災や減災をテーマとするフォーラムを開催し、地区防災会はもとより市民の皆さんの防災に対する意識の向上を図ります。

福岡都市圏からの移動時間を大幅に短縮し、広域的な交流を拡大するとともに、災害時には避難路ともなる西九州自動車道については、いよいよ唐津市から南波多町までと山代町から松浦市までの2つの区間が開通することから、ウォーキング大会などの記念事業を開催するほか、市内全区間の早期開通に向け、関係機関への提案活動に取り組みます。

また、臨港道路七ツ島線をはじめ国道204号バイパスや都市計画道路大坪木須線など、交通の利便性を高め、物流や観光、防災など市民生活や経済活動を支える重要な都市基盤となる幹線道路の整備を促進するほか、市街地における交通の円滑化を図るため、新たに都市計画道路大坪小学校線の整備に着手します。

伊万里港の整備については、浦ノ崎地区廃棄物処理用地の産業用地としての活用に向け、埋め立ての促進をはじめ港湾計画の変更などについて、関係機関に対し強く働きかけます。



防火フェスタで消防職員に指導を受けながら真剣に消火器を操作する子どもたち

● 防災行政無線施設整備事業(新)

764万円

市民の生命、財産を災害から守るため、防災行政無線の整備について基本設計などを行います。

財源 県680万円 市84万円

▼ 防災危機管理課

● 防災活動事業（防災・減災フォーラム(新)

178万円

自主防災組織の活動を促進するため、地域の防災マップ作成に要する費用の補助を行います。また、市制60周年を記念し、佐賀県地域防災力向上促進事業費補助金を活用し、防災・減災フォーラムを開催します。

財源 県50万円 市128万円

▼ 防災危機管理課

● 西九州自動車道整備促進事業（西九州自動車道等開通記念事業費補助金(新)

128万円

西九州自動車道の本市への延伸などを記念し、記念イベントと祝賀会を開催します。

財源 市128万円

▼ 伊万里湾総合開発・国道対策課

● 都市計画道路整備促進事業（県営事業

業負担金)

4005万円

都市計画道路大坪木須線および八谷掘駅前線の整備に要する経費を負担します。

財源 市債3600万円 市405万円

▼ 都市開発課



災害時の危険箇所や避難経路などを確認しながら『わがまち・わが家の防災マップ』を作成する地域の人たち

● 都市計画道路整備事業（大坪小学校線(新)

1500万円

社会资本整備総合交付金を活用し、都市計画道路大坪小学校線の整備に着手します。

財源 国825万円 市債670万円 市5万円

▼ 都市開発課

● 市道改良事業（単独)

1199万円

市道の改良や舗装工事を行います。

財源 県1070万円 市129万円

▼ 建設課

●道路管理事業 8494万円

市内全域の市道の維持補修工事などを行います。

財源 県5750万円 市2744万円 ▼建設課

●河川管理事業 1384万円

準用河川および普通河川の正常な機能維持と、河川の排水機場や樋門などの管理を行います。

財源 国314万円 県281万円 市789万円 ▼土木管理課

●煤屋川改修事業 1833万円

社会資本整備総合交付金を活用し、準用河川煤屋川は狭く蛇行しているため台風や豪雨時は頻りに氾濫し、農地や家屋が浸水被害を受けることから、改修工事を行います。

財源 国600万円 市債1180万円 市53万円 ▼土木管理課

●都市公園管理事業 3964万円

都市公園38施設の清掃、樹木などのせん定・防除、遊具の点検などの維持管理を行います。

財源 使用料16万円 諸収入7万円 市3941万円 ▼都市開発課

●市営住宅改修事業 4442万円

社会資本整備総合交付金を活用し、老朽化が著しい市営住宅の改修工事を行います。

財源 国2123万円 諸収入10万

円 市債2260万円 市49万円 ▼建設課

●空き家等管理促進事業 278万円

平成25年1月に施行した空き家等の適正管理に関する条例に基づき、危険な空き家などに対して適正な措置を行います。

財源 国113万円 市165万円 ▼建設課

●散弾銃射撃場環境調査事業(新) 1721万円

市散弾銃射撃場および旧散弾銃射撃場における鉛対策のための土壌調査を行います。

財源 市1721万円 ▼体育保健課

●波多津簡易水道区域拡張事業(深谷地区)(水道事業特別会計) 3790万円

水道未普及地域である波多津町木場深谷地区に水道施設を整備し、波多津簡易水道の給水区域を拡張します。

財源 国1128万円 市債2500万円 市162万円 ▼水道部工務課

●有田川浄水場更新事業(水道事業特別会計) 12億1926万円

施設の老朽化や水源の水質変化などに対応し、安全・安心で良質な水道水を供給するため、高度浄水処理施設への更新を行います。

財源 国3億2100万円 市債6億

円 出資金1億6923万円 市1億2903万円 ▼水道部工務課

●公共下水道事業(公共下水道事業特別会計) 19億9234万円

快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を推進します。

財源 国1800万円 市債6億8810万円 使用料など5億6624万円 市7億2000万円 ▼下水道課

●浄化槽設置促進事業 1811万円

浄化槽を設置する世帯に対して補助を行い、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図ります。

財源 国578万円 県604万円 市629万円 ▼下水道課

●浸水対策事業 4億4118万円

満潮時に豪雨が重なった場合、道路などが冠水する馬伏地区と松島搦地区に、雨水渠や排水機場などの整備を行います。

財源 国2億1680万円 市債2億980万円 市1458万円 ▼下水道課

●一般廃棄物収集運搬事業 1億5042万円

ごみを分別収集するための指定ごみ袋などの製作を行うとともに、一般廃棄物の収集運搬を業者へ委託し実

施します。

財源 手数料1億949万円 諸収入30万円 市4063万円 ▼環境課

●環境センター管理運営事業 2億8634万円

市内から排出されたごみ(一般廃棄物)を衛生的かつ適正に処理するため、老朽化した焼却施設を安全に稼働できるように管理運営を行うとともに、ごみのリサイクル処理を行います。

財源 諸収入1407万円 市2億7227万円 ▼環境課



多くの人でにぎわう市役所公用車庫で開催されるリサイクルバザー

●伊万里・有田地区衛生組合運営負担金
2億8461万円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿処理や火葬場事業の運営経費を負担します。

財源 市2億8461万円 ▼環境課

●ごみ処理広域化推進事業

1億8795万円

佐賀県西部4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合に対して経費を負担し、新施設の建設を推進します。また、今年度は、ごみ処理施設建設工事や取付道路維持補修工事などを行います。

財源 市1億8795万円

▼環境課

●一般廃棄物処理基本計画改定事業(新)

200万円

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理基本計画を策定し、ごみの減量化と資源化を図ります。

財源 市200万円

▼環境課

●広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業(新)

2845万円

佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会との間で締結された地域振興策協定に基づき、組合からの依頼を受け、松浦町の地域振興事業を行います。

財源 繰入金2845万円

▼環境課



佐賀県西部広域環境組合が建設を進めている広域ごみ処理施設の完成予想図

●広域ごみ処理施設建設に係る地域振興基金(新)

5011万円

佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会との間で締結された地域振興策協定に基づき、組合からの依頼を受け、松浦町の地域振興事業を行うための資金の積み立てを行います。

財源 財産収入11万円

▼環境課

●伊万里・有田消防組合運営負担金(新)
7億6803万円

4月1日に発足した伊万里・有田消防組合が行う消防事業の運営経費を負担します。

財源 市7億6803万円

▼消防調整課

●消防団車両管理事業

483万円

各地区消防団に配備されている小型動力ポンプなどについて、老朽化に伴う更新を行います。

財源 諸収入476万円 市7万円

▼消防調整課

●鉄道交通支援事業

1167万円

第三セクターである松浦鉄道株式会社との円滑な事業運営のため、松浦鉄道沿線の2県4市2町で組織する松浦鉄道自治体連絡協議会において決定した施設整備事業計画に基づき、施設の整備、更新に対する支援を行います。

財源 市1167万円

▼地域振興・公共交通対策課

●コミュニティバス運行事業

1571万円

高齢者などの交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスの運行を行います。

財源 市1571万円

▼地域振興・公共交通対策課

●バス交通支援事業
880万円

地域の特色ある取り組みとして定着している東山代「元氣バス」事業に対する支援を行います。

財源 市880万円

▼地域振興・公共交通対策課

●防犯灯設置促進事業

120万円

各行政区が行う防犯灯の設置に対し、補助金を交付します。

財源 市120万円

▼総務課

●急傾斜地整備事業

100万円

家屋などの背後地の急傾斜地や崖地の崩壊による被害の増大を未然に防止するための工事を行います。

財源 分担金25万円 県50万円 市25万円

▼土木管理課



雨期を前に地元や防災関係者で行う防災パトロール

まちづくりの目標

自立と協働のまちづくり

市政運営の根幹に据え取り組んでいる市民との協働をさらに活性化するため、地域の課題解決をめざし各町において主体的に取り組みられているまちづくりの実践活動への支援を行うほか、海外におけるまちづくりの先進的な取り組みについて調査研究を行うため、公募による研修団を派遣します。

年金や税をはじめ、福祉、医療などに関する住民情報の相互連携を目的として新たに創設される社会保障・税番号制度への対応を進めます。

公共施設の老朽化が進行していることから、今後の人口減少に伴う適正な施設規模などを十分に考慮した上で、施設の統廃合を含めた再配置や改修などに関する中長期的な計画を策定し、施設の長寿命化に取り組みます。

自主財源の確保や行政評価の活用、機構改革によるコストの削減など、行政改革大綱に基づき効果的で効率的な行政運営に努めます。



アグリ山からの絶景を見ながら疲れを癒やす波多津ウォークの参加者たち

●地域の元気推進事業

632万円

地域の課題に対応した、住民自らの手によるまちづくり活動を支援するため、市内全13町（地区）公民館を拠点に組織された『まちづくり運営協議会』に対して助成を行います。
財源 繰入金400万円 市232万円
▼男女協働・まちづくり課

●21世紀市民ゆめづくり計画支援事業

105万円

市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体が主体的に取り組む夢のあるまちづく



伊万里市観光ボランティアガイドの会主催の福々開運スタンプラリーに挑戦する子どもたち（左2人）

り活動に対して支援を行います。
財源 財産収入21万円 市84万円

▼男女協働・まちづくり課

●次代を創る研修事業

323万円

ふるさと創生人材育成基金を活用し、人材育成の一環として市民が主役のまちづくりを柱とした海外研修を実施します。
財源 財産収入6万円 繰入金247万円 諸収入70万円

▼男女協働・まちづくり課

●社会保障・税番号制度システム構築

事業新

1541万円

平成28年1月から利用が始まる社会保障・税番号制度に対応するため、基幹システムの改修作業などを行います。

財源 市1541万円 ▼情報広報課

●地籍調査事業

1億2045万円

公共財産を保全するとともに、土地に関する基礎資料とするため、黒川町や波多津町の一部の地籍調査を行います。

財源 手数料16万円 県8130万円 諸収入53万円 市3846万円

▼地籍調査課

●議員政務活動支援事業

600万円

市議会議員の調査研究活動のため、必要な経費の一部を補助します。

財源 市600万円 ▼議会事務局

●市制60周年記念式典開催事業新

194万円

市制60周年を記念して式典を開催し、市政功労者と善行者を表彰するほか企画パネルなどの展示を行います。

財源 市194万円 ▼秘書課

●甲子園プロジェクト推進事業

99万円

全国の注目を集める甲子園出場をテーマに、指導者研修会や高校野球強化試合の開催に対する支援を行います。

財源 繰入金33万円 市66万円

▼地域振興・公共交通対策課

未来へダッシュ!



広報 **伊万里**

平成26年度 予算特集号

- 発行日/平成26年7月15日
- 発行編集/伊万里市情報広報課広報係
(0955)23-4313(ダイヤルイン)
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷/株式会社 三光